

前回見直し検討会議の意見聴取について(全体)

資料1

1

第4回見直し検討会議(令和7年3月)において指摘された事項について、総合都市交通計画の見直しにおける対応の方向性を検討する。

主な指摘事項	主な対応の方向性
他の施策との連携 ✓ 他の施策と連携して取り組む内容は、きちんと書いておく必要がある。	◆ 各交通政策の目標に関連する計画を記載いたしました。
川崎市らしさ ✓ 川崎市らしい計画となるような内容を入れ込む方が良い。課題の整理等が必要。	◆ 本市の交通事情・交通特性のまとめとして、本市の地図に落とし込み、視覚的に分かりやすく、本市の強みや多様な地域特性を整理しました。
駐車場関連施策 ✓ 「駐車、荷捌き施策の推進」について、今までとの違いが見せられれば良い。	◆ 国の新たな方針等を踏まえ、交通戦略として従来の駐車場整備、荷捌き対策から「駐車場マネジメントの取組」を位置づけました。
担い手不足 ✓ 運転手だけでなく整備士も含めて担い手不足となっている。	◆ 運転手だけでなく、整備士を含め、さまざまな交通の担い手不足として整理しました。

(参考)第4回見直し検討会議における学識経験者の主な指摘事項 ²

	指摘事項の概要
政策研究大学院大学 岸井委員	✓ 計画全体として自動運転に関する打ち出しが弱いのではないか。バスの運転手不足への対応だけでない位置づけの仕方があるのではないか。 ✓ 「総合都市交通計画」ではあるが、他の施策と連携して取り組む内容は、きちんと書いておく必要がある。 ✓ モビリティハブについて、駐車場や、物流のハブとしての活用なども考えられるので、そういった考えを打ち出せないか。 ✓ 「駐車、荷捌き施策の推進」について、メッセージとして分かりづらい。今までとの違いが見せられれば良い。
芝浦工業大学 岩倉委員	✓ 川崎市の本当の課題を抽出し、川崎市らしい計画にしていくために、整理・言及できていない課題がまだあるのではないか。
東京女子大学 二村委員	✓ 川崎市らしい計画となるような内容を入れ込む方が良い。 ✓ 脱炭素の取組について、道路交通の円滑化のみに見えてしまうので、見せ方の工夫が必要ではないか。 ✓ 交通安全教育の実施について、誰を対象にどのようにするのか見えた方が良い。
日本大学 大沢委員	✓ 取組の主な変化要因について、首都圏レベルの話があってから川崎市の話に入っていく流れがあった方がよい。 ✓ 運転手不足の記載について、運転手限定でなくても良いのではないか。整備士も含めて担い手不足となっている。
小田急電鉄 宮原委員	✓ 目標2と目標4の交通戦略について、一部重複が見られるため整理が必要。